

出題の意図

第1問

建築を学ぶ上で必要となる立体的な図形を把握する能力と描写する能力を検査する。頂点を共有する2つの円錐の一方を、頂点を中心として他方の円錐面上を滑らないように一周転がすとき、問1においては、点Pの軌跡を適切に把握できるかという点とそれを上から見て適切に描写できるかという点、問2においては、点Pと円錐Bの頂点を結ぶ線分が生成する曲面の形を適切に把握できるかという点とそれを与えられた視点から曲面上の模様も含めて適切に描写できるかという点が評価のポイントである。

出題の意図

第2問

建築を学ぶ上で必要となる屋外空間を構想し表現する能力を検査する。既存の休憩小屋を対象に、空間に新たな役割を与え、屋根、壁、家具・什器類を組み合わせることで、空間の活用方法を備えた創造性のあるデザインが提案されているか、デザインの意図が明確であるか、空間のスケールに対する感覚を持ち合わせているか、素材の質感を含めた空間描写ができているかという点が評価のポイントである。